

157の春～157の笑顔、157通りの幸せを咲かせよう～

4月7日、春の陽ざしに包まれた八田中学校に、157の新しい春が訪れました。

午前には始業式、午後には入学式が行われ、生徒たちの表情には、希望と緊張、そして新しい出発への決意が満ちていました。

始業式では、2・3年生を代表して2人の生徒が、今年度挑戦したいこと、そして自分をどう成長させたいかについて、自分の言葉で力強く語ってくれました。その一つひとつの言葉からは、これまでの経験と、

これからに向けた意志の強さが伝わってきました。そして、スピーチをしなかった生徒たちの姿にも、「やってやるぞ!」という内なる情熱と、しっかりとした眼差しが宿っていました。

私は今年度より八田中学校に着任いたしました校長の神宮司剛です。これまで甲州市内で長年子どもたちと向き合ってきたまいりましたが、縁あってこの伝統ある八田中学校に着任したことは、私にとっても大きな「挑戦」であり、伝統ある八田中学校の良さを「継続」していくという決意の表れでもあります。

全教職員と力を合わせ、生徒一人ひとりが「自分は成長している」と実感できる学校を、保護者の皆さま、地域の皆さまとともににつくっていきたい——そんな強い思いを胸に、新年度をスタートいたしました。

始業式では、157通りの幸せのために、「**継続すること**」と「**小さなチャレンジ**」を大切にしてほしいというメッセージを、生徒たちに伝えました。

毎日続けることは、決して簡単なことではありません。しかし、昨日よりも少しだけ前に進もうとすること、小さな挑戦を積み重ねていくことは、やがて確かな力となり、心の成長へとつながっていきます。

たとえば、いつもより丁寧にノートをとってみる。ちょっとだけ勇気を出して、困っている誰かに声をかけてみる。そうした一步一步が、自分らしい幸せへとつながっていくのです。

157人いれば、157通りの性格があり、157通りの目標があり、そして157通りの良さと幸せがあります。私が語った「継続」と「小さな挑戦」は、それぞれの生徒が、自分らしい幸せに向かって進むための「力」になると信じています。

午後の入学式では、新入生42名がブレザータイプにリニューアルした真新しい制服に身を包み、八田中学校の一員として新たな一歩を踏み出しました。生徒会長・北野沙和さんのあたたかい歓迎の言葉、そして新入生代表・大場春菜さんの希望に満ちた誓いの言葉には、これから始まる中学校生活への強い意欲と期待が込められていました。

先輩たちは、心を込めた校歌の合唱と力強い応援で新入生を迎えました。そこには、「ともに歩いていこう」「一緒に成長していこう」という、八田中学校らしいあたたかさが満ちていました。

こうして、157人の生徒一人ひとりが、それぞれの春を胸に抱いて動き始めました。

今年度も、教職員一同、すべての生徒の笑顔と幸せを願いながら、その歩みを全力で支えてまいります。

どうか保護者・地域の皆さまも、それぞれの子どもたちの挑戦と成長を、あたたかく見守ってくださいますようお願い申し上げます。



4月18日～20日 修学旅行

【命と向き合う一日 ―広島で学んだ平和の意味―】

修学旅行1日目、3年生56名は広島平和記念公園を訪れました。「原爆の子の像」の前で行った献鶴式では、平和への願いを込めて一人ひとりが折った千羽鶴を捧げました。その後、「大地讃頌」の作詞者・大木惇夫氏の碑の前で、命の尊さと平和の大切さを胸に、全員で「大地讃頌」を合唱。静かな公園に響き渡る歌声は、生徒たちの心の奥深くに残るものとなりました。

さらに、被爆当時13歳だった被爆者の方から直接お話を伺う機会もありました。爆心地近くでの壮絶な体験、家族や友人との別れ、そして現在に至るまで放射線と共に生きる日々。語り手の思いは、「過ちは繰り返させぬから」という碑文の意味を、生徒たちに静かに、そして確かに伝えてくれました。命の尊さ、平和の重みを肌で感じた一日となりました。



【心を整える静寂 ―京都・妙心寺での禅体験―】

修学旅行2日目、生徒たちは京都の妙心寺を訪れ、禅体験に臨みました。広大な寺院の中で座禅を組み、五感を研ぎ澄ませて「今この瞬間」に意識を集中させる時間。僧侶の法話では、日々の生活の中で心のざわめきにどう向き合い、どう整えていくかが語られました。

日々忙しさの中にある生徒たちにとって、静けさの中で自身と向き合うこの体験は、かけがえのない学びとなりました。自分の心を見つめることの難しさと大切さを、実感として受け取る機会となりました。



【世界が注目する知恵 ―マインドフルネスとつながる学び―】

近年、世界では「マインドフルネス」という言葉が注目を集めています。これは禅の教えに基づき、自分の内面に意識を向ける実践で、Google や Apple といった世界的な IT 企業でも社員教育に取り入れられています。集中力や創造性を高め、心の安定やストレス軽減に効果があるとされ、実際に多くの成果をあげています。

今回、生徒たちが体験した妙心寺での禅は、まさにその原点に触れるものでした。「静かに自分を見つめる力」は、これからの社会を生きるための大切な力となります。広島で学んだ命の尊さと、京都で学んだ心の整え方。その両方を得た生徒たちのまなざしには、確かな成長の光が宿っていました。